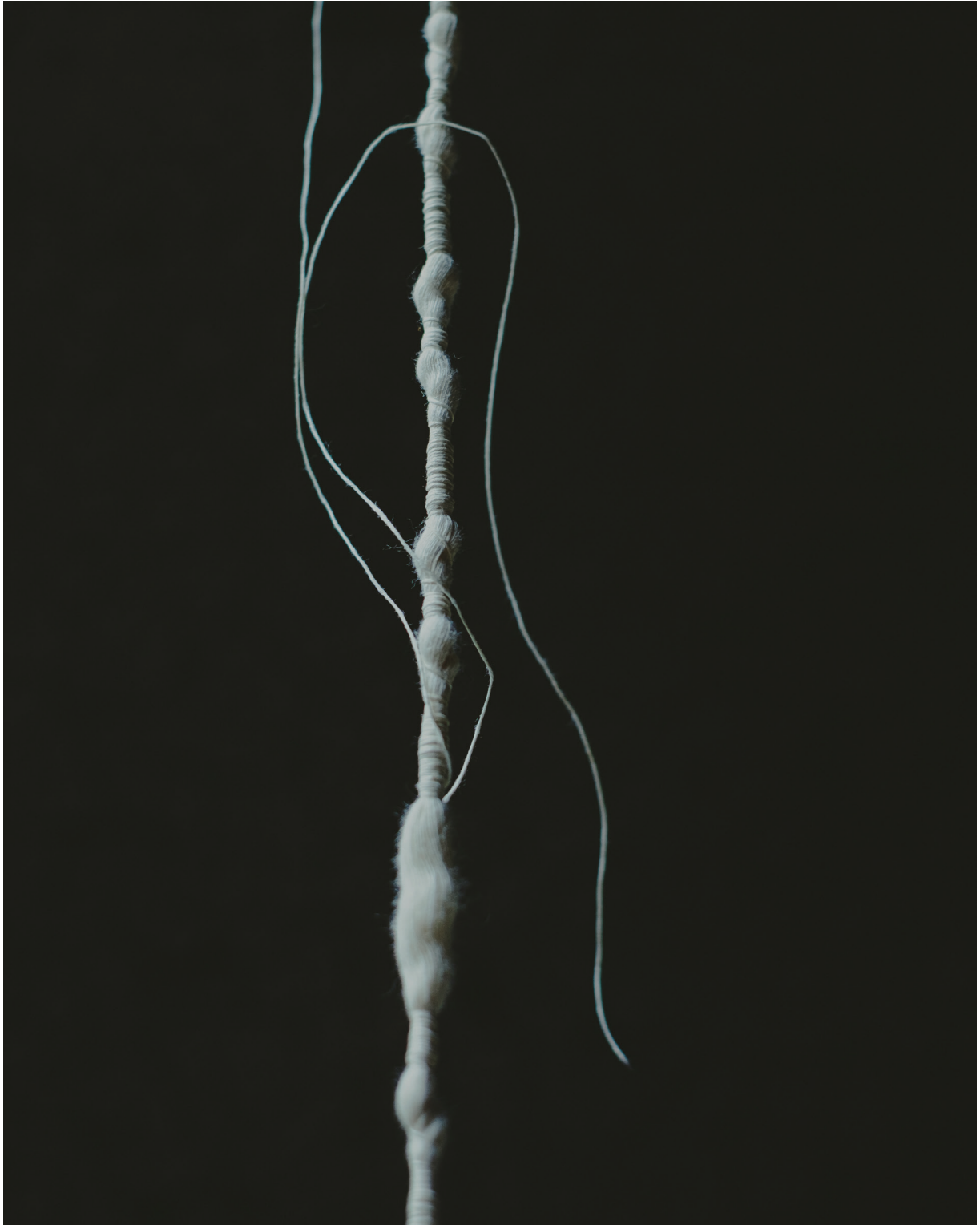




Photo_Noam Levinger

WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2026

IMAGINE - Beginning to Form

—私たちは想像する。

素材と対話を重ねることで見えてくるかたち、その間にあるもの

布になる前の糸の記憶、人が纏うことに込めた祈りや作用

遥か昔から先人たちが紡いできた知恵と技術と共に

受け継がれていくものが、かたちを成しはじめる前のことを



Photo_Noam Levinger

WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2026

IMAGINE - Beginning to Form

消えゆく手仕事や素材に目を向けながら、人や土地との巡り合わせを独自の手法で綴り、衣服やプロダクトを展開する「WONDER FULL LIFE」。この度、2026年9月15日（火）～19日（土）の期間、創作の柱である衣服を中心とした2026年の展示会を開催いたします。

国やジャンルを越えて、各地のつくり手や表現者たちと対話を重ねながら、ものづくりの小さな循環を目指し、創作を続ける主宰の大脇千加子。今回のコレクションでは、ものづくりの根本に立ち戻りました。リサーチを通してブランドの核となる糸や布をはじめとする素材それぞれの特性や、その背景にある見えない思想や文化、伝統を深く理解すること。そして、これまで作り続けてきた衣服の「型」を丁寧に見直し、再構築することに注力しています。

会場となるのは、東京・五反田の島津山エリアに位置するオルタナティブスペース「などや」。場づくりを軸に人の営みを考察する「などや」は、古い家屋を分解し、庭の草木や土石といった自然環境を活かしながら再構築することで、実験的なクリエイションや文化発信を続けています。

古い素材の存在を消し去るのではなく、次に続くものの中へ確かな存在感を保ちながら、循環させ、新たな形へと構築していくその姿勢は、WONDER FULL LIFEのものづくりとも深く共鳴しています。

本展「IMAGINE—Beginning to Form」は、一本の糸が布になり、かたちを成しはじめる過程に目が向けられています。過去を辿り、素材と対話する先に紡がれる未来を想像しながら、今回のコレクションをご覧くださいと幸いです。

WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2026 IMAGINE - Beginning to Form

会期 | 2026年9月15日（火）- 16日（水） 10:00-18:00 Buyer & Press

2026年9月17日（木）- 19日（土） 11:00-18:00 Friends & Customer

会場 | nadoya 東京都品川区東五反田3-7-15

*会場の都合上、ご予約制となります。詳細は別紙ご参照ください。

LINE-UP



STANDARD / FORM

世界各地の民族衣装をはじめ、人々の営みの中で生み出され受け継がれてきた伝統着や仕事着、装束など、人が纏うものに込められた思想や機能を読み解き、現代の暮らしに寄り添う新たな形へと再構築した定番服。

「STANDARD / FORM」とし、次の時代へと受け継がれる普遍的な型を探索していきます。新作の型は、着物がルーツになったと伝えられるアロハシャツをベースにしたユニセックスのシャツとパンツのセットアップやジレドレス、モンゴルの民族衣装 DEEL を再構築したショートジャケットなどが加わります。本展では新作をはじめ、これまで作り続けてきた定番を磨き直し、シャトル機で織り上げられた無垢な布で、定番の「型」を象徴する衣服のアートピースを仕立てたものを展示します。



LINE-UP

LIMITED EDITION / MATERIAL

国内外の産地や人を訪ねて巡り、出会った素材から制作する特別なリミテッドエディション。

限りある古布や、手仕事から生まれた素材と対話を重ねて、未来へ繋ぐかたちへ昇華しています。



○ IKAT| 久留米絰

国の重要無形文化財にも指定され伝統工芸として作り続けられている久留米絰。筑後産地の工房を巡りました。白糸を先に染めて柄を出す「先染め」の手法を用い、独特のかすれたような模様が特徴の綿織物。柄を出すために、糸を括り、染めて織り合わせる、その果てしない工程に魅せられて、布を深く知ることで見えてきた衣服の形。各工房の特色や織物巾に合わせて、着物がルーツになったと伝えられるアロハシャツをベースにしたユニセックスなシャツを制作しています。

○ INDIA DEAD STOCK FABRIC

手仕事から生まれる多彩な布が魅力の国、インド。しかし近年は他国と同様に、伝統的な手仕事や工房が急速に減少しており、現在ではすでに生産できなくなった布も少なくありません。今回は、失われゆく手仕事から生まれた希少な布の中から選び抜いたデットストック生地を用いて、ネオカフタドレスやストールを仕立てています。いずれも1反に満たない希少なデットストック生地を使用しているため、このシリーズは受注生産にて承ります。

○ KANTHA

インドの女性が家族の幸福と繁栄を祈って古布に刺し子を施すインドの手仕事の極み「KANTHA（カンタ）」。
手元に巡った一枚一枚と対話しながら、隣り合う色柄を見つけて繋ぎ合わせて、同じものが一つとしてない着衣を仕立てています。今回は人気の高いローブに加えて、モンゴルの民族衣装 DEEL を再構築したジャケットや、ショートサロンがあたらしく加わっています。

LINE-UP



TALISMAN

WONDER FULL LIFE の初期からつくり続けている、世界各地から 国境や時代を越えて手元に届いた 石や銀細工を編み繋いでいく「TALISMAN (お守り)」。

WONDER FULL LIFE の手元に届いた水晶は、インドとコロンビアの鉱山から巡っています。長い年月をかけて大地と時間によってつくられた自然そのものを感じることができる原石。それぞれに持ち合わせる形の個性を読み解き、カレンシルバーのビーズを合わせて編みこんでいます。



KIMONO BABOUCHE

日本で古くから継がれてきた職人たちの技が織りなした着物の帯をモロッコの伝統的な履き物バブーシュに仕立て直しました。裏側の糸を、一枚一枚丁寧に切り取って芯を貼り、手渡した手仕事のバトン。異国の文化が混ざり合い、日本の色彩を纏った履物として息を吹き返します。



chisaki × WONDER FULL LIFE

日本のものづくりに息づく技術と志の高さに共鳴し、国内外の様々な素材の可能性へとまなざしを向けながら、美しいつくり手たちや失われつつある素材の技術の行く末にも心を寄せ、ものづくりを進める帽子ブランド「chisaki(チサキ)」。

急速な時代の変化を感じながら、今季は共同制作の軸を見つめ直し、初期作のマスターピースに絞り発表していきます。



Lue × WONDER FULL LIFE

真鍮を素材に用いた金工を手がける Lue/ 菊地流架とつくりだすアクセサリーのラインナップ。真鍮で形つくられたイヤークフは使うほどに馴染み、経年変化の美しい表情を見せます。定番のバングルやイヤークフの他、新作のコンチョやリングなどが加わります。

COUNTERPOINT EXHIBITION 2026



A place we share our re-creation journal

COUNTERPOINT は、国内外のさまざまな地へ旅をして、共鳴を重ねてきた LIGHT YEARS の細矢直子と WONDER FULL LIFE の大脇千加子が、旅をしながら出会った人や出来事、感じたことを構築するプロジェクトとして、2019 年よりスタート。衣服やアクセサリー、バッグなどに展開。音楽用語で多重奏を意味する「COUNTERPOINT」は、国や人種、様々なものが重なり合い、生まれる瞬間を探して、旅から生まれていくものをテーマに新たな形を探索していきます。

今回のテーマは、「keep going」。社会の情勢が変容する時代の中でも自分たちの歩幅で歩んでいけるようにとの思いをこめています。今年もインドの職人たちと取り組んだブロックプリント、バンガロールシルクをはじめ、人気のクババッグや、アフリカンビーズを用いたアクセサリーなどを展開します。

BLOCK PRINT

インド・ジャイプールの工房で制作しているブロックプリント。今回は日本の絹織物の貴重な甲斐絹帳の中からインスパイアされ、江戸～明治時代につくられた解し甲斐絹と呼ばれる高度な緋の文様を木版で表現しました。日本とインド、それぞれの国で磨かれた技法が混ざり合うことで、文化が融合し、新鮮な印象を生み出しています。

BANGALORE SILK

刻々と生産背景が変化するインドの中でつくり続けてきた象徴的な定番シルク。一昨年から、インド南西部に位置するバンガロールで織られた生地を用いています。肌に触れた時の心地よさやしなやかな光沢が、日常を上質に彩ります。今回は人気の黒が復刻、新色にニュートラルなグレーも加わります。

KUBA BAG

モノトーンに描き出された幾何学的な斜め格子をベースに、美しく描き出される多種多様な刺繍文様。アフリカ中央部にあるコンゴで伝統的に作られてきたクバ布がもつ独自の世界に惹かれ、身に着けられるバッグに仕立てています。クバ布という一枚の布が語りかけてくる言葉に耳を傾けると、見えてくるかたち。多様な形のバッグとなったクバ布の次なる広がりをお楽しみください。

TALISMAN

○馬具飾り

手元に巡ってきた日本古来よりつくられていた馬具飾り。水牛の骨と思われる、おおらかに異なる大きさのパーツには文様が施されています。装身具としても使える多目的なオーナメントをつくりました。

○AFRICAN BEADS

サハラで暮らす人々のビーズ。砂漠の民にとって移動や運搬、食用など暮らしに必要な存在のラクダ。余すことなく活用されるラクダの骨でつくられたビーズは丁寧に磨かれていて、ひとつひとつの歪んだ形にどこか愛おしさを感じます。3種類のビーズを組み合わせ、隣り合えるかたちを見つけながら編み繋いで首飾りをつくりました。



OUTLINE

WONDER FULL LIFE EXHIBITION 2026 IMAGINE - Beginning to Form

会期 | 2026 年 9 月 15 日 (火) - 16 日 (水) 10:00-18:00 Buyer & Press

2026 年 9 月 17 日 (木) - 19 日 (土) 11:00-18:00 Friends & Customers

会場 | nadoya 東京都品川区東五反田 3 - 7 - 15

R.S.V.P. | 本展はご予約制とさせていただきます。

大変お手数ですが、下記のフォームご記入くださいますようお願いいたします。

受付フォーム <https://forms.gle/NftDmzgAeM6JYgFM8>

※会期中 9 月 17 日～ 19 日の期間、日本を拠点に活動するポーランド出身の料理人 Ola Szwalek (オラ・シュヴァ
ウェク) によるお菓子と anan coffee をご用意しております。ぜひあわせてお楽しみください。

PROFILE



Photo_Noam Levinger

WONDER FULL LIFE 大脇千加子 (オオワキチカコ)

WONDER FULL LIFE 主宰。2005 年に立ち上げた自身のファッションブランドを経て、2016 年より新たな創作活動として「WONDER FULL LIFE」を始動。ファッションとアートワークを軸に、国やジャンルを超えたさまざまな分野のつくり手や表現者たちと協働し、衣服やアートオブジェに展開。展示会やイベントの開催をはじめ、オリジナルの作品制作、インスタレーションなど、幅広い活動を行う。 <https://www.wonderfulllife.link>

CONTACT

☐ GENERAL CONTACT :

WONDER FULL LIFE 大脇千加子
090-1709-2020
info@wonderfulllife.link

☐ PRESS CONTACT :

デイリープレス 川村美帆
tel.03-6416-3201/090-4063-3081
mihokawamura@dailypress.org